

新日本無線紀行 ⑥

千年の城下町、
仙台。

千年の繁栄を願う地に、
高性能アナログICの

新日本無線株式会社

日経産業新聞

NIKKEI BUSINESS DAILY

2007年(平成19年)

9月7日

金曜日



FILCO

フォトファブ
http://www

日本フィルコン株式会社 TEL.042

DNP

大日本印刷

■NIKKEI NET アドレス <http://www.nikkei.co.jp/>

■日経産業新聞ホームページ <http://ss.nikkei.co.jp/ss/>

■購読のお申し込み ☎0120-21-4946 <http://www.nikkei4946.com>

土曜・日曜・祝日休刊

インフォシス(インド)

1

ソフト開発を主力とするインドのIT(情報技術)サービス産業は、「貧困」や「不衛生」などインドの負のイメージを一手に覆った。大手財閥が産業を支配してきたインドで、インフォシス・テクノロジーズは同国では珍しいベンチャー企業から出発し、「世界のITサービスセンター」を代表する企業に成長した。その躍進の秘訣を探る。

インド南部のバンガロール。高度成長とインフラ不足を象徴する市街地の交通渋滞とクラクションの嵐を抜けて郊外の一軒家を訪ねると、右手にガラス張りの近代ビル群が七万五千人を超える社員

世界に挑む BROCS企業

若い技術者
中核担う

国内で開発世界へ

平均年齢が二十六歳で「と呼ぶリーダーを中核に、数十人がチームとなり、数十年前のインドにない、舞台装置だ。中核事業のソフトウェア開発をこつた若い技術者が担う。本社キヤンパスの一角にある「グローバル・テリバリ」モデルの一端が表れている。世界中から開

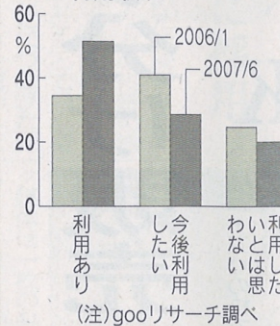
発案件をかき集め、豊富な最高経営責任者(CEO)でかつ割安な技術者をフル動員して作業する。その成果は通信回線の世界の隅々に届ける。受注するのはシステム「部分開発」や「テスト」ということもある。例えば米マイクロソフトの最新基本ソフト「ウィンドウズ・ビスタ」の開発にもインフォシスは携

わった。欧米有力IT企業と競合するのではなく、開発パートナーとなる協業に発展している。外部に任せられる部分は任せ、自前の社員は中核業務に集中させる。こんなアウトソーシング(業務の外部委託)需要が、なだれを打つようにインドに押し寄せている。

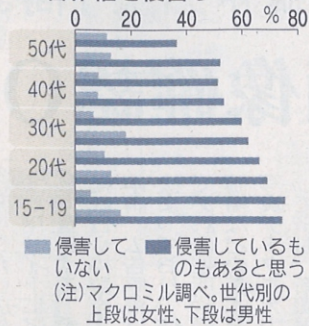
4面に続く

ビジネスPlus

無料動画配信サービスの利用状況



ユーチューブのコンテンツは著作権を侵害しているか



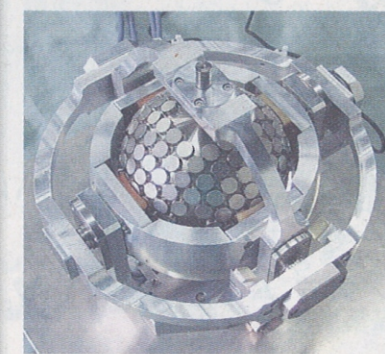
富士通フロンテックは六日、RFID(無線自動識別)技術を利用したタグ(荷札)を内蔵した衣類用ワッペンII写真IIを二十日から販売すると発表した。ミノタ(東京・千代田、箕田順一社長、都築電気との共同事業でミノタが販売、都築電気が読み取りシステムの構築を担当する。二〇一〇年までにワッペン販売およびシステム構築で三社合わせて十億円の売り上げを見込む。

ワッペンで入退室管理



ゴム素材使い洗濯可能

タグは衣類に取り付けられても違和感がないようゴム素材で柔らかい小型のものを採用した。百回以上洗濯をしても品質が劣化しないという。ワッペンのほか、ネームプレートも用意した。価格は八・五センチ四方のワッペン型が一枚千二百六十円から。ネームプレートで八百四十円から。読み取り機などと組み合わせて販売する。



球面モーター

【つくば】産業技術総合研究所は安川電機と共同で、傾いた状態になっても安定して力が出せる球面モーターを開発した。球面モーターは一個で人間の目や肩のような複雑な動きを実現でき、装置の小型化につながる。ロボットや車載機器など幅広い応用が見込める。これまで製作された球面モーターは軸を傾けると力が大きく落ちる問題があったが、安定して力が出せるようになったことで実用化へ大きく前進した。

産総研の矢野智昭主任研究員が開発したのは球面同期モーターと呼ばれるタイプ。軸を四五度の範囲で傾けられ、傾けても物体を動かす力を示すトルクが安定している。トルクの大きさはこのロボットや車載装置などへの応用が見込まれる。

産総研と安川電機

装置小型化可能に

これまでの最高だった〇・一センチを上回り、位置決め精度は〇・〇一度以下。球形のローター表面に回転軸から同心円状になるよう円盤形の小さな永久磁石を配置し、N極とS極が交互に並ぶ。その回りに置いた向き合った二組の電磁石に電流を流して動きを制御する。電磁石の配置や磁気回路の設計を工夫して安定して力が出るようにした。球面モーターは、複数のモーターを組み合わせた複雑な動きを一台ででき、小型化も容易。人間型ロボットの関節や自動

デジタル家電の買い替え年数と買い替え時に重視する主なポイント(複数回答、%)

製品ジャンル	買い替え年数(平均、年)	使いやすさ	省エネ・経済性	高性能・高機能	価格の低下	デザインの良さ
薄型テレビ	7.6	38.9	45.7	52.8	56.0	30.7
ビデオカメラ	5.8	64.4	8.7	53.1	46.2	19.5
DVDレコーダー・プレーヤー	5.2	58.8	12.9	50.6	43.5	12.1
パソコン	4.6	52.6	18.9	59.5	47.6	18.4
デジタルカメラ	4.4	65.3	11.1	60.0	43.8	27.2
携帯音楽プレーヤー	3.4	56.3	9.1	39.8	32.2	30.8
携帯電話	2.7	67.9	10.1	32.5	42.5	39.7

買い替え時に重視する点

薄型TV「備

本社調査 携帯は「使